

移植腎線維組織増生の原因検索と予後への影響

1. 研究の意義、目的、方法

秋田大学医学部附属病院で腎移植を受けられる全ての患者さんには、移植前に「免疫抑制薬の薬物動態に影響する遺伝子の解析」と、「腎移植後定期腎生検」を施行することをご説明し、承諾を得てこれらの検査を遂行しております。このことは秋田大学医学部倫理委員会に提出し承認されております。

移植後の腎生検の目的は、拒絶反応、高血圧、高脂血症、高尿酸血症、糖尿病などの臨床事象や、カルシニューリン阻害薬（本院ではタクロリムス使用）の血中濃度などにより、移植腎組織ダメージがあるか否かを病理学的に検証することにあります。

移植腎病理診断は Banff 分類という世界共通の診断基準を基にしております。特に移植腎の線維組織が増加すると、移植腎機能や生着率に悪影響を及ぼすことが知られています。この移植腎線維組織増生の Banff 分類の評価法は、I-IV 度まで 4 段階の評価で、その判断は観察者の主観によります。移植当日から 1 か月、半年、1 年と経過する間に線維組織は増加していきませんが、これをより客観的に評価すべく、現在私達はコンピューター解析による移植腎組織増生率は算出し、線維組織が増加し易い臨床背景や遺伝子を、継続して検索しております。また、コンピューターに線維組織の質・量的評価は、時代とともに改良されております。

私達は、より鋭敏な検査法を求め、「移植腎組織増生の原因検索と予後への影響」を継続して検討し、これを日々の治療に役立てるよう努力しております。

2. 研究機関名

秋田大学医学部附属病院 腎疾患先端医療センター・同 泌尿器科・同 腎臓内科

3. 研究に係る研究者等の氏名

佐藤 滋、齋藤 満、小松田 敦

4. 開示等の求めに応じる手続方法、苦情の申出先及び問い合わせ先

開示等の求めへの対応： 外来受診時等で口答にて説明や論文等の開示

苦情の申し出や問い合わせ先： 秋田大学医学部附属病院 腎疾患先端医療センター

TEL 018-884-6239、FAX 018-884-6568

Email shigerus@doc.med.akita-u.ac.jp